



TM © Rugby World Cup Limited 2015. All rights reserved.

特別
対談

ラグビー選手／日本代表

福岡県知事

福岡 堅樹さん × 小川 洋

福岡県では、「スポーツ立県福岡」を目指し、子どもたちに夢や希望を与え、皆を一つにするスポーツの力と、それがもたらす経済の活性化や国際交流の推進などの効果を最大限活用して、福岡県をより元気にする取り組みを進めています。

今年秋、ラグビーワールドカップ2019™日本大会がアジアで初めて開催され、福岡県も全国12会場の一つに選ばれています。

ラグビーワールドカップへの関心が高まる中、小川知事は福岡県出身でラグビー日本代表として活躍する福岡堅樹選手と対談し、ラグビーの魅力や見どころ、そして大会に懸ける思いについて語り合いました。



ラグビー選手／日本代表 **福岡 堅樹** (ふくおか けんき)
平成4年生まれ、古賀市出身。5歳からラグビーを始め、福岡高校3年時に全国高校ラグビーフットボール大会に出場。筑波大学2年時に日本代表に初選出され、その後世界屈指のスピードを誇る日本代表のトライゲッターとして活躍し続けている。

福岡県知事 **小川 洋** (おがわ ひろし)
昭和24年生まれ、福岡市出身。京都大学法学部卒業。昭和48年に通商産業省(現 経済産業省)に入省。産業技術環境局長、特許庁長官、内閣広報官を歴任。平成23年4月に福岡県知事就任。現在2期目。

いろいろなタイプの選手が一つになってプレー～ラグビーの魅力～

知事:ラグビーワールドカップ2019™日本大会の開催まで、いよいよあと8カ月余りとなりました。開催都市の一つとして、ぜひ成功させたいと考えています。福岡県が誇る福岡選手には、昨年の海外代表チームとの試合で、足の速さと頭脳プレーを武器にしたキレのある動きで攻守共に活躍される姿を何度も見させていただきました。本番での活躍を、本当に楽しみにしています。

福岡堅樹さん(以下、福岡):ありがとうございます。皆さんの期待に応えられるよう精いっぱい頑張りたいと思います。日本代表には、私以外にも山田選手や布巻選手、流選手など福岡県出身の選手がいて心強いです。同郷の選手と喋ると、つい博多弁が出ますよ(笑)。

知事:それはうれしいですね。福岡選手にとってラグビーの魅力とは何でしょう？

福岡:それは、足が速い、遅い、背が高い、低い、身体が大きい、小さいなどいろいろなタイプの選手がいますが、それぞれの人に向いた役割があって、全員が一つになってプレーできることだと思います。

知事:私も同感です。一人一人がチームのために全力を出し切り、次の選手にボールをつないでいく、そしてチーム全体が前に進みトライに向かっていく、“One for all ,All for one”、そこにラグビーの魅力があると思います。

世界トップレベルのスピードと迫力を間近で体感

知事:福岡県では、世界ランキング2位のアイルランド、8位のフランスなど強豪国の3試合が開催されます。会場である東平尾公園の「博多の森球技場」は、グラウンドと観客席が近いので、世界最高峰の試合をスピードや迫力を間近で感じながらここ福岡県で直接見ることができます。我々に、大きな感動をもたらしてくれることでしょう。またとない機会ですので、ぜひ、県民の皆さんに会場に足を運んでいただきたいと思います。

福岡:そうですね、世界トップレベル選手の相手を抜き去ってのトライシーンや頭脳プレー、仲間との信頼から生まれるパスワークや激しいぶつかり合いなど、ラグビーの醍醐味(たいてい)を体感できると思います。